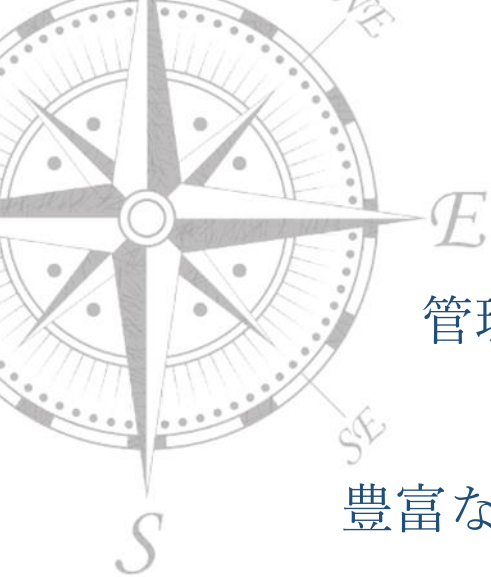


会社案内

Corporate Profile



FIRST MARINE SERVICE



管理船舶の安全運航・効率運航

迅速なトラブル対応

豊富な実績に裏打ちされた安心と信頼



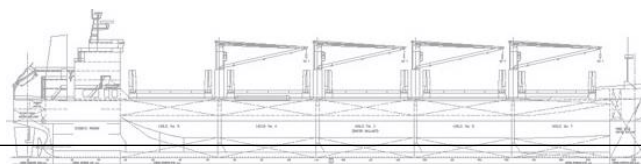
First Marine Service

私たちは現場重視の船舶管理会社です。



船舶管理業は海運業を支える大きな柱です。

社長挨拶



「環境に優しく、安全に、確実に、そして迅速に」

ファーストマリンサービス株式会社は、1965年（昭和40年）に第一中央汽船株式会社 In-House の船舶管理会社として設立され、永年に亘り船舶管理業に携わって参りました。

1997年以降は、これまで培ってきた海技力をベースに、船主の皆様の船舶管理受託をスタートさせ、信頼していただける船舶管理会社を目指して「現場主義」「安全に、確実に、そして迅速に」をモットーに様々な難局を乗り越え、そして顧客の皆様と共に成長の道を歩んで参りました。

現在、ファーストマリンサービス株式会社は、船舶管理業を主体とし、新造船の建造監督派遣業務、荷役安全監督派遣業務、船舶機器・予備品・船用品・潤滑油購買業務等更なる事業の充実と発展を目指し努力を続けております。

船舶管理業は、国際物流に不可欠な海運業を支える大きな柱の一つです。この海運業の一翼を担う船舶管理を通して、地球環境の保全など社会に寄与してゆくことが、私たちの責務であると同時に誇りでもあります。

ファーストマリンサービス株式会社は、QSMS で定める方針に沿って活動し、顧客の皆様と共に更なる発展を遂げるため、全社の総力を結集して事業に取り組んでまいります。

「Challenge and Enjoy」

将来に向けて、立ち止まることなく挑戦していく。そして、何事においても楽しむこと。私達は、常に挑戦しながら、誇りを持って仕事を楽しむ、そんな会社を目指しています。

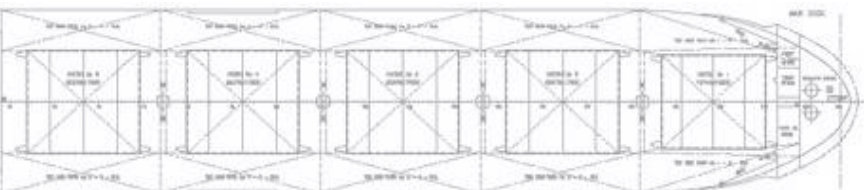


企業理念

船舶管理業を通じて世界経済の一翼を担い、安全で効率的な運航の徹底を図ることで社会の持続可能な成長に寄与していくこと。

事業内容

- ・船舶管理に関する業務
- ・船員配乗に関する業務
- ・船舶の建造、保守に関する技術指導並びに工務監督業務
- ・船舶の運航に関する技術指導業務
- ・その他海運業関係の技術指導業務
- ・船用品、機関部品並びに潤滑油の購買



安全への取り組み

ファーストマリンサービスの船舶管理基本方針

当社は、現場主義に重点を置いて、スリーゼロ(人身事故ゼロ、海難事故ゼロ、油濁事故ゼロ)を目指して、安全かつ経済的な船舶管理の徹底を図ることを船舶管理の方針としています。

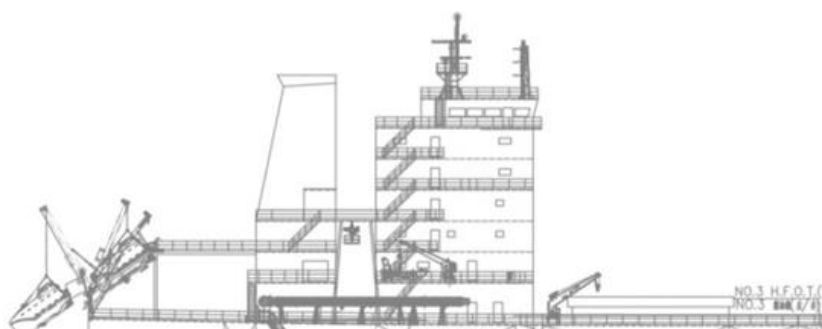


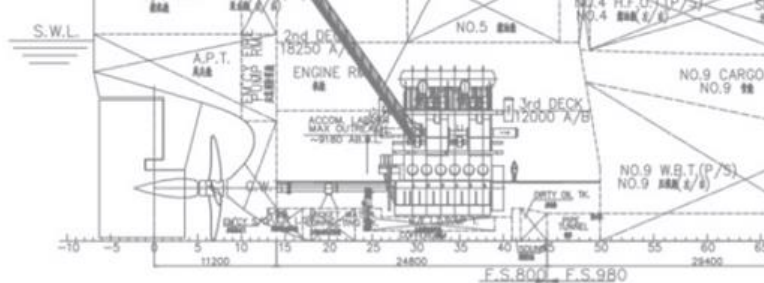
乗組員の育成・教育

上記の基本方針の実現には、優秀な乗組員の存在が不可欠です。

そのため、乗組員の確保だけでなく、技術向上にも力を注いでいます。当社監修の下、配乗会社での定期セミナーや乗船前研修を実施。

また、本船にも情報発信や教育支援を通じて船上教育をサポートし、安全監督の派遣による現場指導も行っています。





品質安全管理システム

当社では、1995年に国際海事機関(IMO)が定めた ISM コード(国際安全管理規定)、1996年に ISO9001 を取得。

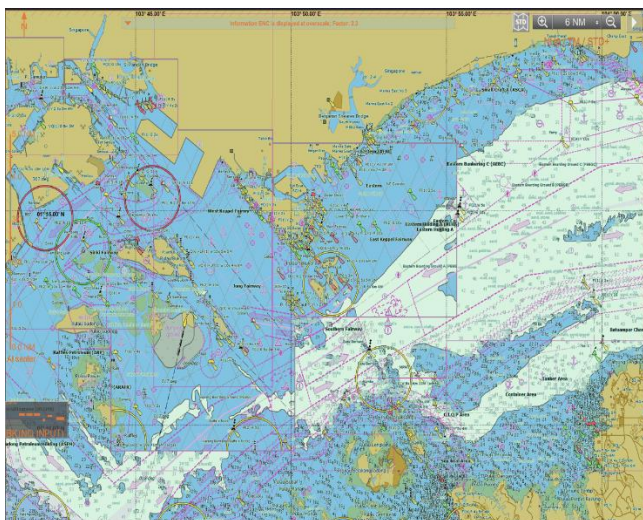
それらに基づいて独自に「品質安全管理システム」を構築し、きめ細やかな船舶管理を実施しています。

Planned Maintenance System

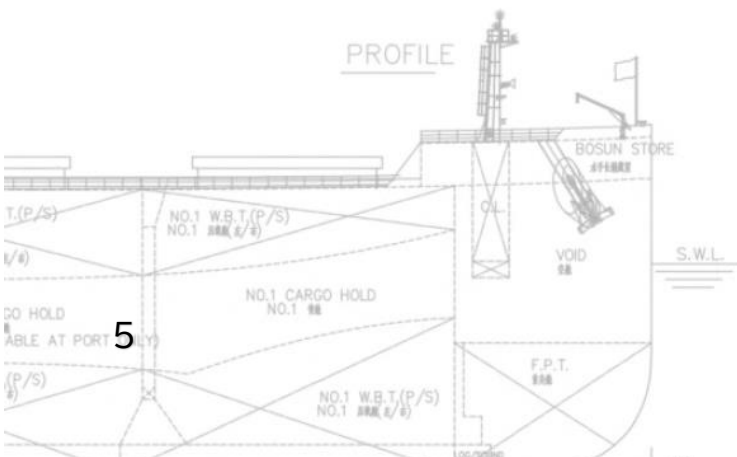
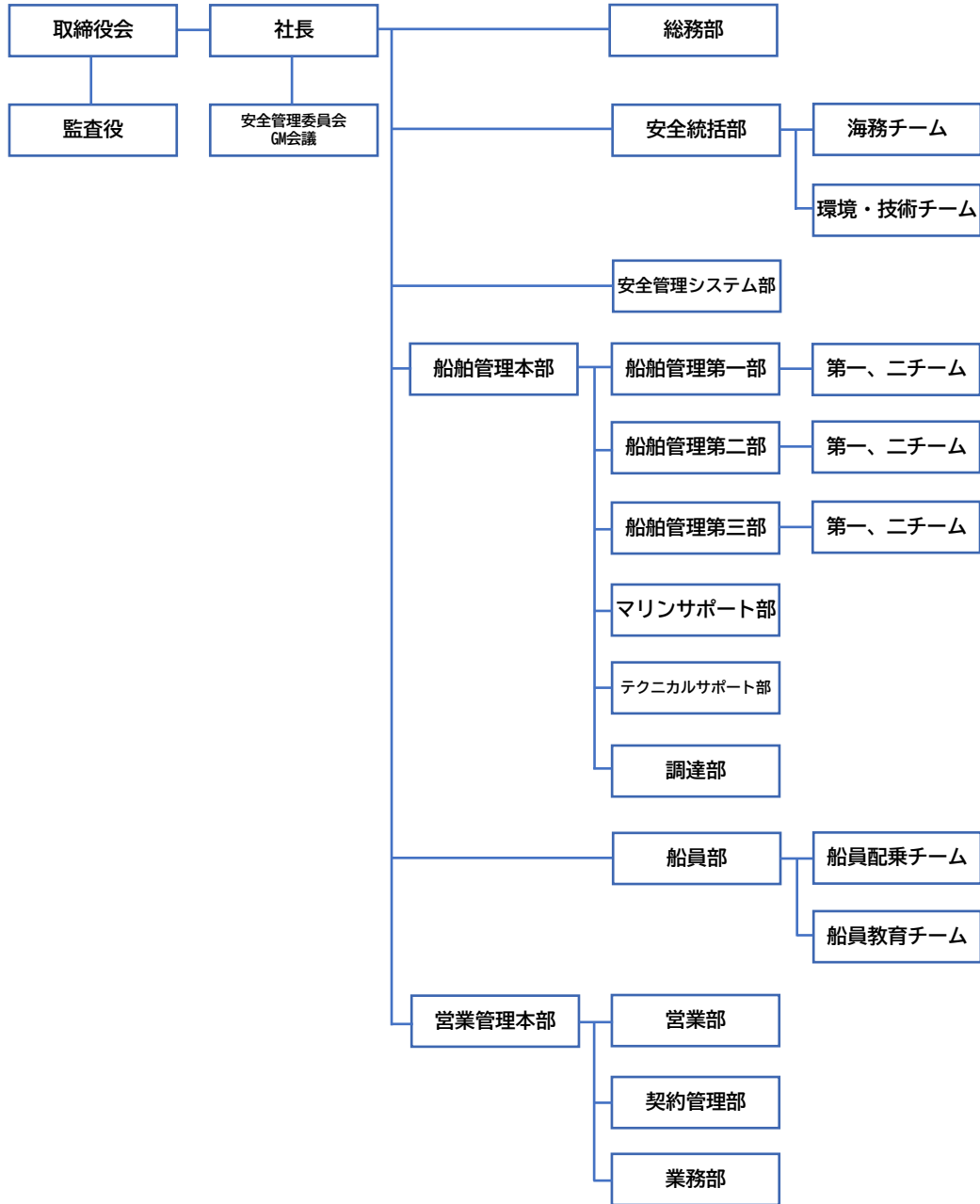
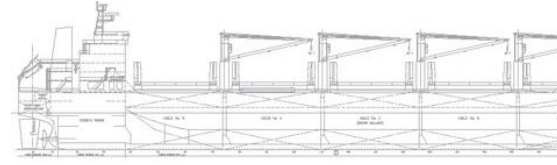
当社では、管理船舶の安全運航、環境保全及び運航効率の向上を目的として「Planned Maintenance System」により、更なる船舶管理の精度向上を図り、運用しています。

重大海難事故演習

品質安全管理システムでは、ISOの規格要求事項である緊急事態への準備及び対応手順を定期的に確認するため、当社管理船が重大海難事故に遭遇した場合を想定し、海難対策委員会の招集から事故対策班の編成、マスコミ対応までの社内演習を陸上及び海上組織を動員し年1回実施しています。



組織紹介



総務部

当社の管理部門として総務・人事・経理・広報業務等を行っています。

安全統括部

海務チーム、環境・技術チームで構成されています。

- ・海務チーム： 港湾事情調査や配船検討、貨物や荷役に関する調査検討、台風などの気象情報の監視などをはじめとして、事故原因の分析や改善策の立案、公文書発行などの業務を担当しています。
- ・環境・技術チーム： 新造船建造関連、機関全般および燃料や潤滑油に関する事故原因の分析と改善策の立案、新技術や新燃料に関する情報の収集、環境規制への対応、公文書発行などの業務を担当しています。

安全管理システム部

SOLAS/MARPOL など国際規則改定や PSC、ターミナル、Rightship, 用船者等の安全要求にも対応すべく常に「品質安全管理システム」の見直しを行うとともに、管理船や会社組織の内部監査により見出された不具合や外部機関に拠る指摘事項の収集・分析を行い、関係各部や管理船にフィードバックする事で安全・効率運航や環境保全の向上に努めています。



【船舶管理本部】

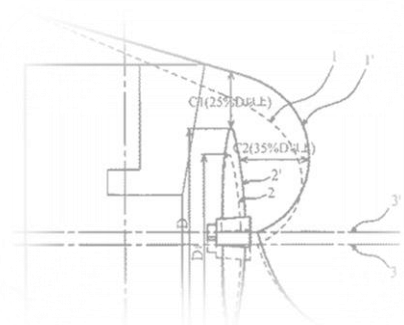
船舶管理第一部、第二部、第三部

豊富な経験と知識を持ったSI(Superintendent)を中心に編成されており、近海船から遠洋大型ばら積船、石炭専用船、多目的貨物船、木材運搬船など多くの船種について、航海、積荷に関する指導、船舶保険・P&I保険処理、売買船を含めた保船業務・船主業務を幅広く行っています。

船舶管理においては、船舶(船体・貨物・人命)の安全と環境への配慮を徹底していく一方、コスト削減という背反するテーマを常に念頭に置いて業務にあたることを基本とし、船主様・用船者様双方のご要望にお応えできるように研鑽を積んでいます。

現場主義をモットーに SI による訪船活動を通して乗組員とともに保船業務を進めています。船長へ航海情報を提供する目的で、マニラのマンニング会社にサポートチームを置いて連携をより強固なものにする体制を整えています。

また、豊富な売買船の実績を基に国内外船主様との船舶売買のコンサルタント業務も得意とする分野の一つです。



マリンサポート部

海務関係の技術支援、船舶の安全運航に付帯して実施される Statutory Task、及び Commercial Task について助言、指導を行っています。

テクニカルサポート部

機関関係の技術支援及び入渠工事、新造船関連の技術支援を行っています。

調達部

良質な船舶用品を安く顧客に提供する事をモットーにし、修繕機材・予備品・船用品・潤滑油や新規国際規則要求品等の調達を行っています。

船員部

船員配乗チーム、船員教育チームで構成されています。

船員の乗下船手配、管理、育成、福利厚生、組合手続き、船用金の送金など、船員に関連する業務を幅広く担当しています。現在、フィリピン、ミャンマー、ベトナムからの外国人船員約 2,500 人を確保しており、特にフィリピンでは 1975 年にマニラに合弁会社を設立して以来、一貫して優秀な船員の確保に努めています。

ミャンマーとベトナムにおいても、現地の配乗会社と協力しながら、当社の船舶運用に精通した人材を確保し、効果的な配乗を実現しています。これにより、復船率を向上させ、安定した船舶運航を支えています。

さらに、現地配乗会社での教育セミナーの開催や、船員の健康管理指導を行うことで、船員の能力向上にも取り組んでいます。また、当部では他の船舶管理会社に対しても船員労務関連の支援業務を提供し、乗組員の選定から手配、組合手続きに至るまで、幅広いサポートを通じて業界全体の発展に寄与しています。

【営業管理本部】

営業部

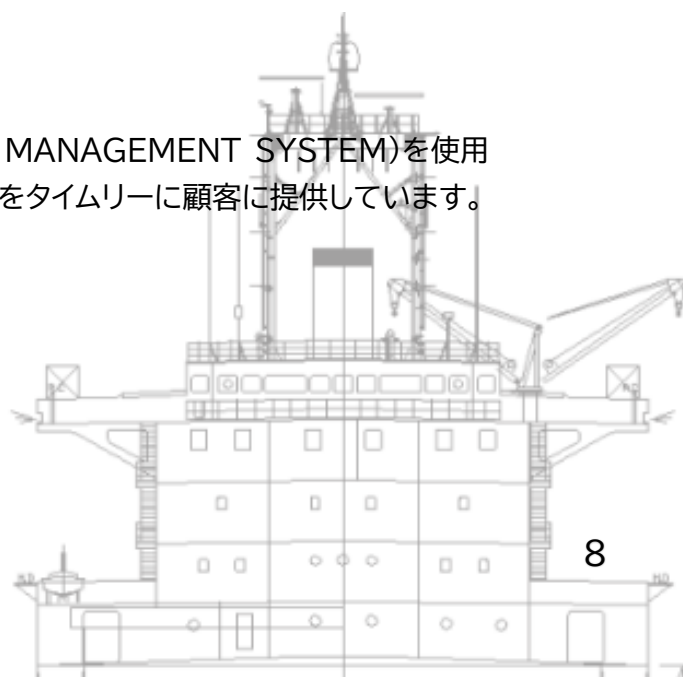
船主様の大切な資産である船舶を良好な状態に維持し、コスト競争力を確保しながら安全運航を完遂できるよう、船舶管理、船員配乗、新造船建造監督等の各種サービスをお客様のニーズに応じて総合的にご提案する窓口として営業活動の充実を図っています。

契約管理部

船舶管理契約書等の契約の締結、及び船舶保険、P&I 保険の契約・更新に関する業務などを行っています。また、船舶管理各部への、用船契約上のトラブル防止や対応策などについての助言も行っています。

業務部

当社開発の費用管理会計システム(ACCOUNT MANAGEMENT SYSTEM)を使用し、関係部と十分に情報交換を行い、詳細な情報をタイムリーに顧客に提供しています。



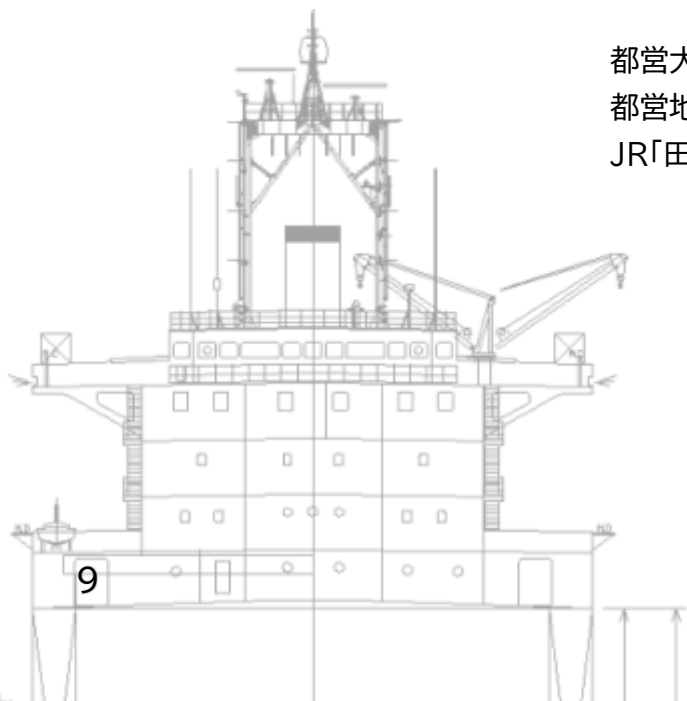
会社概要

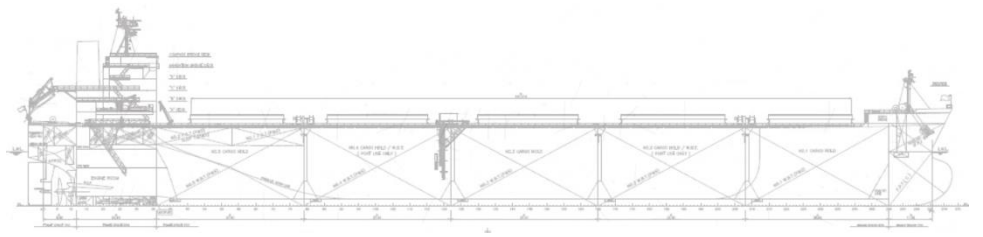
会社名	ファーストマリンサービス株式会社
資本金	2億2千万円
売上高	約13億円
株主	第一中央汽船株式会社(100%)
従業員数	85名(派遣社員を除く)
会社所在地	東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル 25階



アクセス

都営大江戸線「赤羽橋駅」赤羽橋口より徒歩3分
都営地下鉄三田線「芝公園駅」A2 出口より徒歩7分
JR「田町駅」西口より徒歩10分



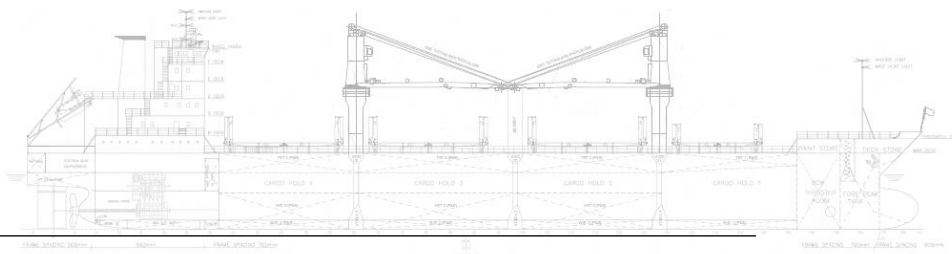


会社沿革

1965年	1月	第一中央船用装備株式会社として大阪市に設立
1975年	6月	社名を「ファーストマリンサービス株式会社」と改め本社を東京に移転 船舶の総合管理業を開始
1987年	12月	資本金を1億 5,000 万円に増資
1990年	4月	資本金を2億 1,000 万円に増資
1995年	11月	ISMコード(国際安全管理コード)認証取得
1996年	2月	ISO9001(品質システム)認証取得
1999年	11月	本社を東京都江東区へ移転
2003年	10月	ISO9001:2000(品質マネジメントシステム—要求事項)認証取得
2007年	11月	本社を東京都中央区へ移転
2008年	12月	ISO9001:2008(品質マネジメント—要求事項)認証取得
2009年	7月	入船事務所開設
2010年	7月	「八重洲海運株式会社」と合併
2010年	7月	資本金を 2 億 2,000 万円に増資
2010年	10月	社名を「第一中央マリン株式会社」に変更
2016年	10月	社名を「ファーストマリンサービス株式会社」に変更
2017年	7月	本社を東京都港区に移転
2018年	1月	ISO9001:2015(品質マネジメント—要求事項)認証取得



主要取引先



主要取引銀行 株式会社三井住友銀行 東京営業部

主要取引先	株式会社 IMC	株式会社スタンダード石油
(五十音順)	株式会社相浦機械	住友重機械マリンエンジニアリング株式会社
	株式会社東化工	第一中央汽船株式会社
	イーグル工業株式会社	第一中央近海株式会社
	泉化成産業株式会社	第一中央内航株式会社
	乾汽船株式会社	ダイハツディーゼル株式会社
	今治造船株式会社	大洋電機株式会社
	潮冷熱株式会社	中国塗料株式会社
	エイシアンマリントレーディング株式会社	常石造船株式会社
	エスオーシーマリン株式会社	東栄技工株式会社
	MMSLジャパン株式会社	東京計器株式会社
	MC SHIPPING 株式会社	東部重工業株式会社
	関西ペイントマリン株式会社	東洋コーポレーション株式会社
	川崎重工業株式会社	ドリユーマリンジャパン合同会社
	株式会社共栄エンジンサービス	日和商事株式会社
	株式会社協東商会	日鉄物流株式会社
	キムラ海陸通商株式会社	日本ブスネス株式会社
	株式会社國森	日本ペイントマリン株式会社
	佐世保重工業株式会社	日本無線株式会社
	山陽オイル株式会社	福岡船用品株式会社
	サンライズ貿易株式会社	富士物流株式会社
	株式会社三和ドック	富士貿易株式会社
	株式会社ジャパンエンジンコーポレーション	古野電気株式会社
	ジャパン マリンユナイテッド株式会社	株式会社マシン商会
	商船三井テクノトレード株式会社	丸紅株式会社
	株式会社新笠戸ドック	株式会社三井 E&S
	株式会社新来島サノヤス造船	三井 E&S 造船株式会社
	株式会社新来島どつく	株式会社三井 E&S DU
	鈴与ルブリカンツサービス株式会社	三菱重工業株式会社

村上石油株式会社

有限会社明德

ヤンマーエンジニアリング株式会社

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

COSCO SHIPYARD CO.,LTD.

FUJIAN HUADONG SHIPYARD CO.,LTD.

HUARUN DADONG DOCKYARD CO.,LTD

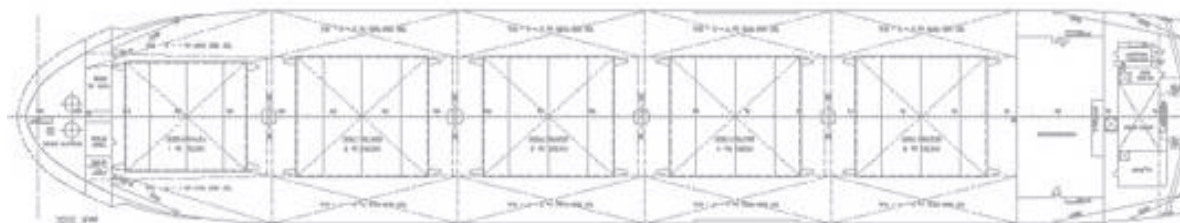
QINDAO BEIHAI SHIPBUILDING HEAVY

INDUSTRY CO.,LTD.

Wilhelmsen Ships Service CO.,LTD

YIU LIAN SHEKOU

ZHOUSHAN XINYA SHIPYARD CO.,LTD.





〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル25階

TEL : (03) 6872-6060

Website : <http://www.fmarine.co.jp/index.html>